

エゾノヒメクラマゴケ		<i>Selaginella helvetica</i> (L.) Spring	絶滅危惧 I 類
			イワヒバ科
選定理由	生育地が限定されるうえ、日照条件、湿度等、周辺環境が若干変化するだけで種の存続への圧迫が強まると判断される。		写真(村長昭義) 
形態の特徴	主茎は地上を長く匍匐し側枝を分岐させるが、区別ははっきりせずからみあってマット状になる小型の常緑性シダ。		
生態的特徴	高山の草原、岩上に生育する。		
分布状況	北海道から本州中部以北の亜高山帯、および伊吹山・大山に分布する。岐阜県では県南西部に見られる。		
減少要因	人による踏みつけ、または周辺植物の繁茂など植生環境の変化。		
保全対策	既知の自生地には、生育場所周辺への立ち入り制限を設ける。		
特記事項			
参考文献			
			

文責:村瀬正成